

9月 つばめぐみだより

令和4年9月26日(月)

津田このみ学園

朝夕と心地よい風が吹き始め、過ごしやすくなってきました。セミの鳴き声からスズムシの鳴き声に変わり、秋の訪れを感じています。園庭では、しっぽとりやおにごっこ、体操などをして、元気いっぱい遊ぶ子どもたちの声が響いています。



《花火ってどんな音?》

夏におうちで花火をした、という子どもがたくさんおり、手持ち花火を作りました。「花火ってぱちぱち音がなったよ」という4歳児のAさんの話をきっかけに、花火の音探しが始まりました。「この音花火に聞こえる?」と友達に尋ねたり、「だんだん音が小さくなって消えていくんだよ」と音の大きさを工夫したりしながら、廃材を使って音を探すことに夢中になっていました。

「花火は火がないとつかへん!」と5歳児のBさん。「火消えたらバケツにいれるんだよ!」と4歳児のCさん。「ほんまや!早く作ろう!」とすぐに火とバケツも作り、手作り花火で遊ぶ友達に合わせて、音を鳴らすことを楽しみました。経験したことを友達と伝え合いながら、遊びを深める姿が見られました。



《フープ送りがんばるぞ!!》

つばめ組ではフープ送りが盛り上がっています。初めてしたときは、なかなか隣の友達へフープを送れず、思わず手を離してしまう子もたくさんいました。「隣の人が手伝ってあげよう!」と5歳児のDさん。「あかぐみさんが手離れへんように手ぎゅって繋いであげよう!」と5歳児のEさん。友達の提案を聞いて、フープの送り方が分からない3歳児に、「がんばれ!」「足上げて!上手上手!」と優しく声をかけながら、スムーズに隣へフープを送れるように手伝っていました。

手を離さずに最後までフープを送ることができるようになってきて、今はより速く送るにはどうすればいいかを考えながら遊んでいます。「頭から通したら速くできたよ」「あかぐみさんを手伝えるように年長さんが一緒に手を繋いであげたらいいと思う!」と、意見を出し合いながら、友達と力を合わせて遊ぶ楽しさを感じています。

